

【研究ノート】

# 北上市における観光資源の活用について

## —北上市観光ビジョンの検証—

Utilization of Tourism Resources in Kitakami City : Kitakami City Tourism Vision

岩田 智

IWATA Satoshi

### Abstract

This research focuses on the Kitakami City Tourism Vision which was published in 2014 with the aim of contributing to the revitalization of tourism in Kitakami City. The publication of this tourism vision precedes the writing of this paper by about 7 years. During this time, Kitakami City is believed to have implemented tourism measures in line with this vision. Although the results of individual measures are not considered in this study, it can be said that the measures implemented were effective in revitalizing tourism in Kitakami City as a whole. This is because almost all the numerical targets set in the Kitakami City Tourism Vision have been achieved. Unfortunately, the number of tourists dropped sharply in the final year of the plan compared to the previous year due to the COVID-19 epidemic. However, if such an unexpected incident had not have occurred, it is highly likely that better results would have been achieved.

【キーワード】 観光資源、北上市、観光ビジョン

### <目次>

- I 問題提起
- II 北上市の観光の現状
  - 1 観光客入込数の推移
  - 2 日帰り客と宿泊客の割合推移
  - 3 宿泊者数の推移
  - 4 宿泊客の県内・県外別の宿泊者数と割合推移
  - 5 小括
- III 北上市の代表的観光資源
  - 1 主な観光資源
  - 2 課題と対策
  - 3 結果の考察
- IV おわりに

## I 問題提起

北上市は、平成6年（1994）に北上市観光開発計画を策定し、観光資源整備を進め観光客誘致に取り組んできた。しかし、北上市は誘致企業を主体とした工業都市のイメージが強いことと、北上市周辺に魅力的な観光資源を有する自治体が多く、期待通りの観光客誘致ができていないのが実態である。平成18年（2006）頃からは、観光客の入込数が減少に転じ、観光産業にテコ入れが必要な状況である。

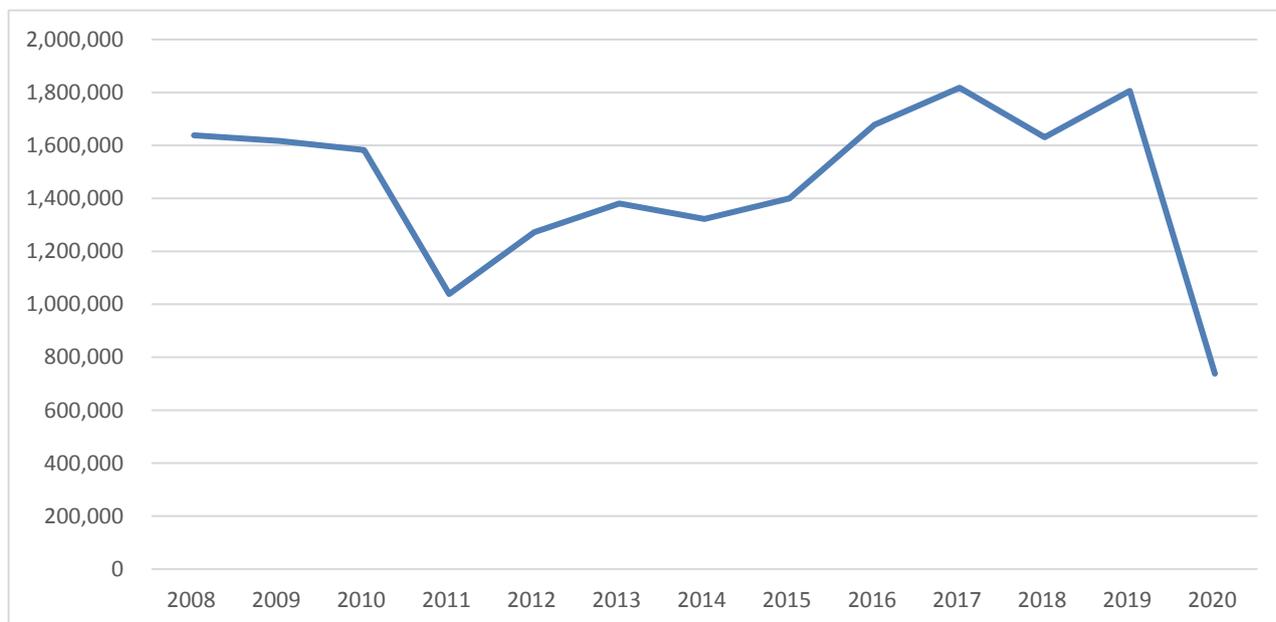
北上市の観光課題は、周辺自治体に比べて有力な観光資源が少ないことである。しかしそれだけでなく、既存する有力な観光資源を活かしきれていない点も指摘できる。とくに、展勝地、夏油温泉、北上・みちのく芸能まつりなどは、強化すべき観光資源であるがいずれも季節性が強く、通年を通じて観光資源としてはなりえない特徴があることは否定できない。いずれも、冬季の観光資源としては、厳しい状況である。

そこで、本研究では、平成26年3月（2014）に公表された『北上市観光ビジョン（平成26年度～平成32年度）「北東北の魅力ある観光ターミナルを目指して」～久遠の瀬音、鬼棲む誇りのおもてなし～』に着目して、北上市の観光活性化に資する目的で研究をしたところ若干の知見を得たので報告するものである。

## II 北上市の観光の現状

### 1 観光客入込数の推移

図1 観光客入込数の推移



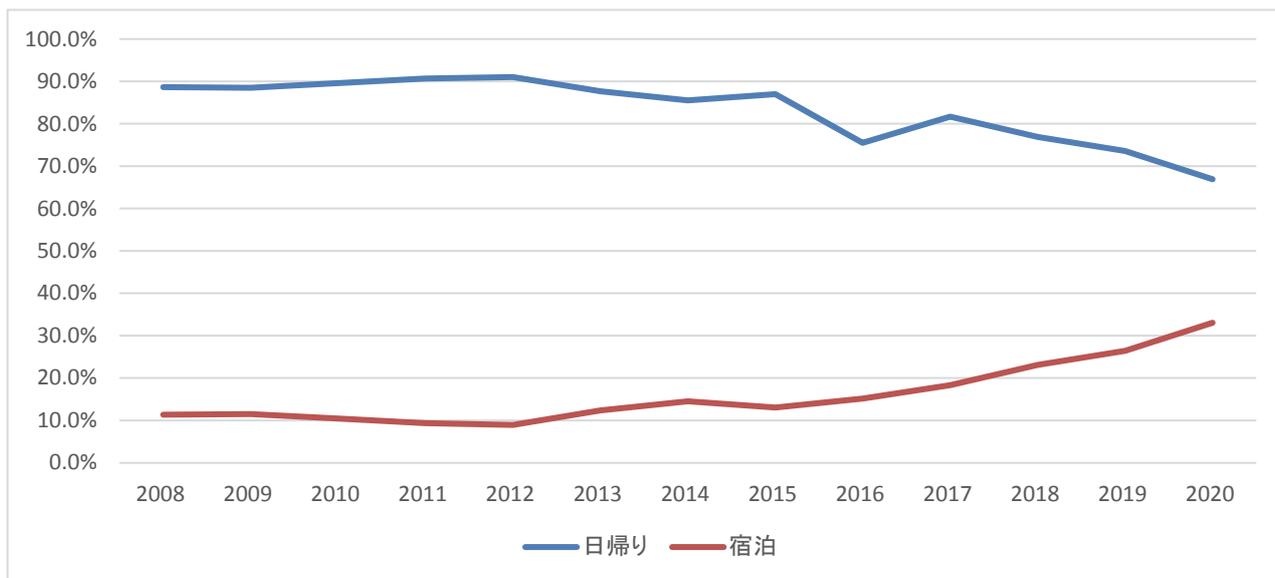
出典：北上市統計書（2008～2020）より作成。

図1は、2008年から2020年までの観光客の利込み数の推移を示したものである。なお、2020年の

急激な観光客入込数の落ち込みは、新型コロナウイルスの流行によるものである。また、2011年の急減は東日本大震災による影響である。この二つの大きな社会的影響を除外して判断すると、2011年から2017年までは順調に観光客入込数が増加していることがわかる。しかし、180万人が上限となっており、今後はこの上限を超える伸びを支援する政策などが必要と判断できる。

## 2 日帰り客と宿泊客の割合推移

図2 日帰り客と宿泊客の割合推移

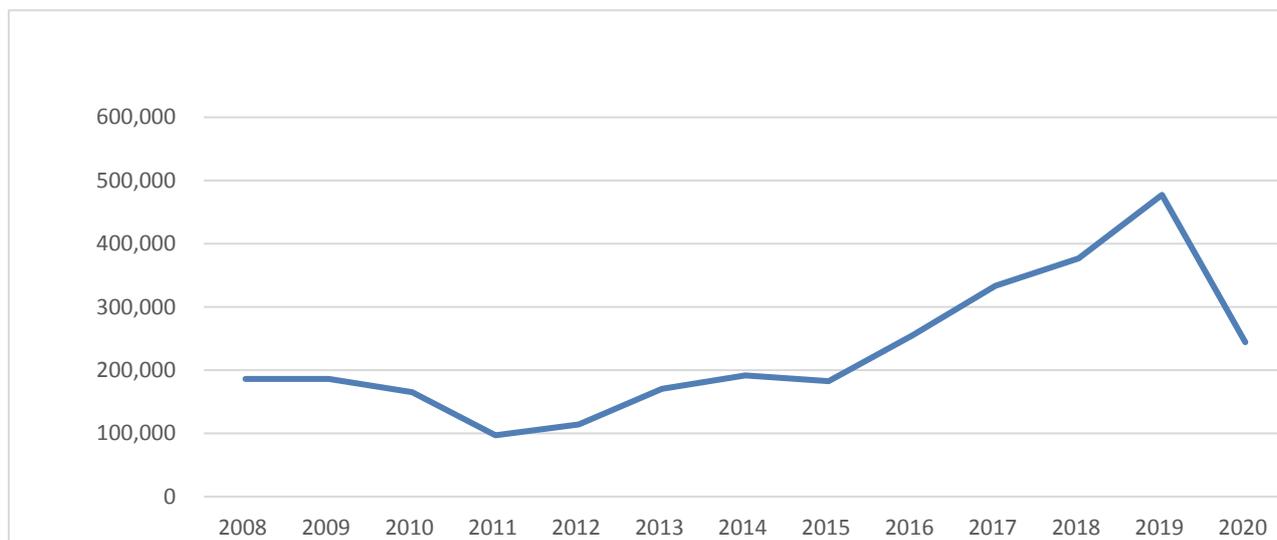


出典：北上市統計書（2008～2020）より作成。

図2は、2008年から2020年までの日帰り客と宿泊客の割合推移を示したものである。これによれば、2008年から2012年までは日帰り客は約90%、宿泊客は約10%で推移してきたことがわかる。2013年から宿泊客の割合が増加し、2020年では約30%を超えていることがわかる。

### 3 宿泊者数の推移

図3 宿泊者数の推移

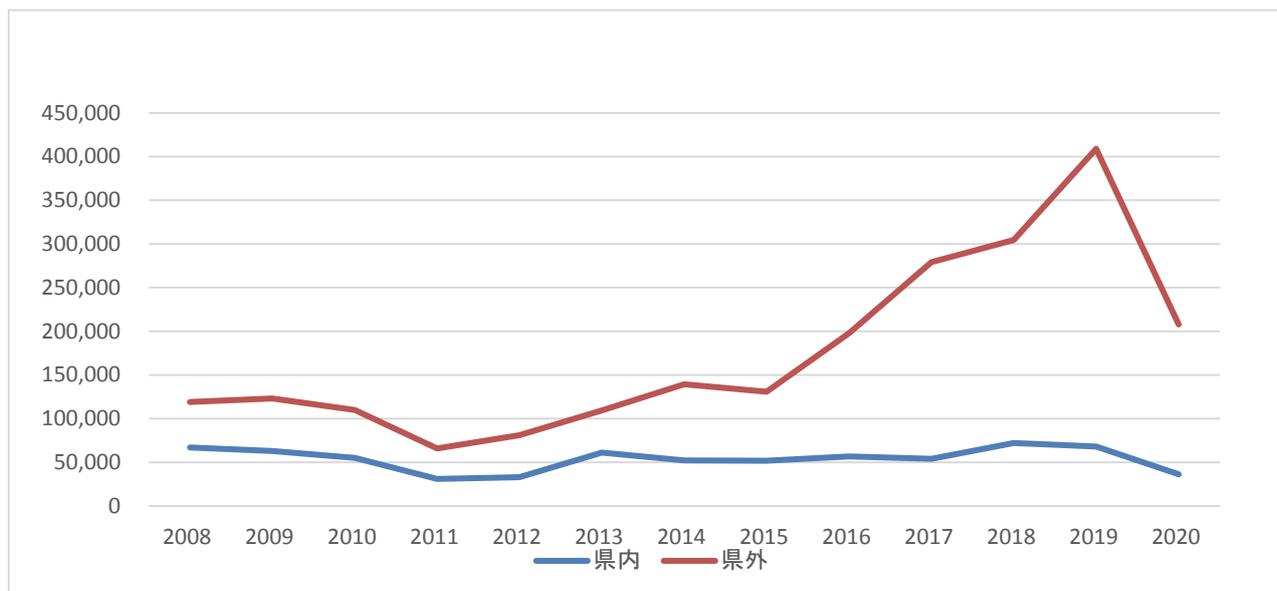


出典：北上市統計書（2008～2020）より作成。

図3は、2008年から2020年までの宿泊者数の推移を示したものである。これによれば、2011年の東日本大震災による落ち込みから2019年までは増加傾向であることがわかる。2020年は、新型コロナウイルスの影響により急減している。

### 4 宿泊客の県内・県外別の宿泊者数と割合推移

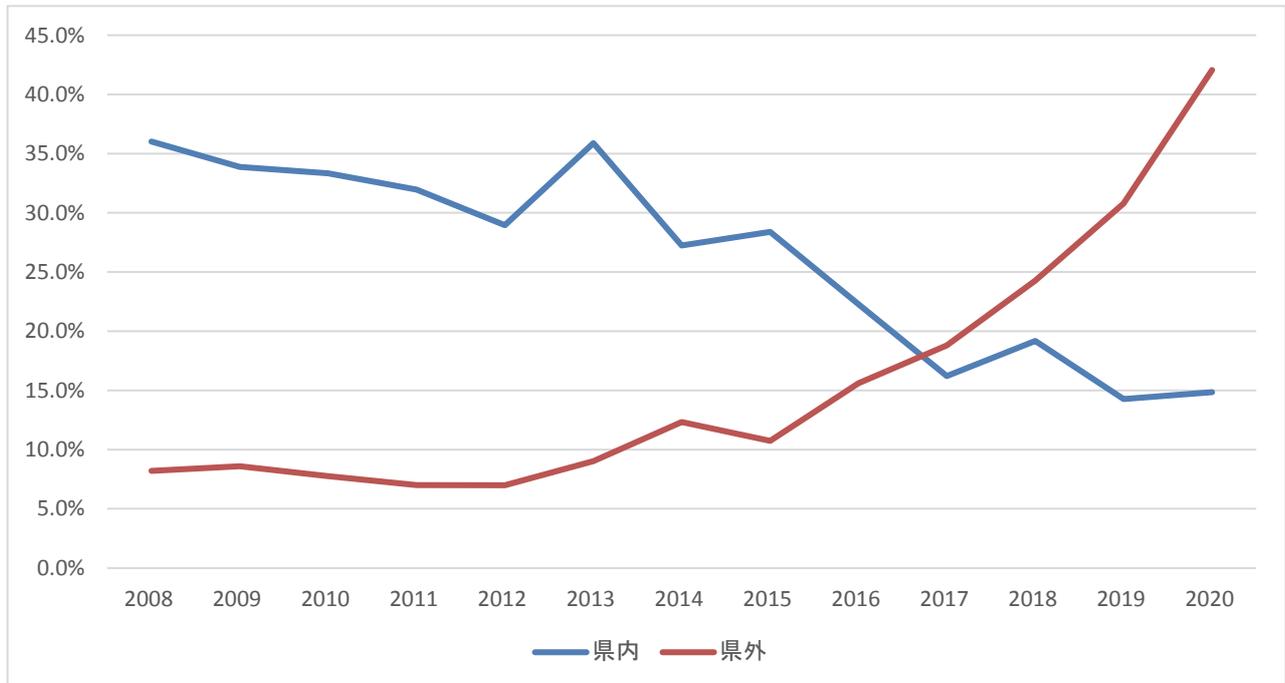
図4 宿泊客の県内・県外別の宿泊者数



出典：北上市統計書（2008～2020）より作成。

図4は、宿泊客の県内・県外別の宿泊者数である。これによれば、表3から宿泊客数は継続して増加傾向にあるが、その内訳を県内宿泊客と県外宿泊客に分けてみた場合、増加しているのは県外宿泊客数のみで、県内宿泊者数はほぼ横ばいであることがわかる。

図5 宿泊客の県内・県外の割合推移



出典：北上市統計書（2008～2020）より作成。

図5は、2008年から2020年までの宿泊客の県内・県外の割合推移を示したものである。これによれば、宿泊者数に占める県内宿泊者数の割合は減少傾向にあり、県外宿泊者数の割合は増加傾向にあることがわかる。2017年には、県外宿泊者数の割合が県内宿泊者数の割合を超えていることがわかる。

## 5 小括

北上市観光ビジョン（平成26年度～平成32年度）の記述では、「本市における来訪者数は年々減少してきており、東日本大震災により、平成23年は大幅に減少し、平成24年には幾分持ち直してきたものの、震災前の来訪者数までにはもどっていません。」とあるが、2016年（平成28年度）の時点で、震災前の来訪者数を回復しており、その後、2020年の新型コロナウイルスの流行までは増加傾向にあることがわかる。

また、同記述では「来訪者の内訳を日帰り客・宿泊客でみると、日帰り客が大半を占めており、その推移をみると平成17年の1,745千人から平成24年には1,158千人と約34%の減少となります。宿泊客も、市内来訪者数の減少に伴い、緩やかに減少傾向にあります。」とあるが、2012年から日帰り

客の割合は継続的に減少しており、逆に宿泊客が継続的に増加していることがわかる。

以上のことから、北上市の観光施策は観光客の誘致に効果的であるいえよう。しかしながら、どの観光政策がどの程度、観光客の誘致に効果があったかは、このデータではわからない。北上市は観光振興策として、複数の課題をあげて取り組んでおり、それらが有機的に働いた結果、このような成果があがったと考えられる。

### Ⅲ 北上市の観光資源と課題

#### 1 主な観光資源・施設

北上市観光ビジョン（平成 26 年度～平成 32 年度）では、次のように観光資源・施設を分類している。

##### （1）民族芸能

北上市には、民俗芸能団体が約 200 ある。代表的な民族芸能としては「鬼剣舞」がある。その他、「神楽」「鹿踊り」「田植踊」などがある。

##### （2）自然

北上市立展勝地公園は、東北有数の桜の名所として知られ、「さくらの名所百選」「みちのく三大桜名所」に数えられており、北上川に沿って約 2 km の桜並木のほか、公園内には約 150 種、約 1 万本の桜がある。また、本市の西部に位置する夏油高原温泉郷は春の新緑、秋の紅葉など四季折々の様々な表情を見ることができ、その奥にある栗駒国定公園には登山コースがあり、駒ヶ岳、経塚山、牛形山への登山のほか、焼石岳への縦走コースがある。

##### （3）歴史、遺跡

藩境塚、樺山遺跡、江釣子古墳群、聖塚など多数の歴史的な文化遺産がある。特に、北上川東部に位置する国見山一帯は古代仏教文化の中心地で、平泉が繁栄を迎える 200 年以上前に栄えたと言われている北上盆地の中心的な寺院、国指定史跡「国見山廃寺跡」など多くの寺院跡がある。国見山一帯は公園に指定されており、ハイキングコースが整備され、貴重な植物も多く見ることができる。

##### （4）イベント・祭り

イベント、祭事は、春の「北上展勝地さくらまつり」や「夏油高原新緑まつり」、夏の「北上・みちのく芸能まつり」、秋の「夏油高原紅葉まつり」のほか、「きたかみ夏油高原ヒルクライム大会」や「ご当地グルメイベント」などがある。

##### （5）観光、スポーツ、文化施設

###### ①みちのく民俗村（常設展示施設）

県内各地の特徴的な民家や歴史的建造物などを保存展示している野外博物館

###### ②鬼の館（常設展示施設）

鬼をテーマにした資料館

###### ③夏油高原スキー場

本州トップクラスの積雪量と雪質を誇る、県南唯一の大規模スキー場

## 2 課題と対策

北上市観光ビジョン（平成 26 年度～平成 32 年度）では、次の課題をあげている。

- ①観光資源の魅力向上に関する課題
- ②特産品のブランド化に関する課題
- ③新たな観光づくりに関する課題
- ④コンベンションの推進に関する課題
- ⑤情報発信に関する課題
- ⑥知名度の向上に関する課題
- ⑦受入態勢と推進体制に関する課題

以上のような課題への対処（基本目標）を達成するための方向性として、3つの基本方針を設定し取り組んでいる。

- ①観光資源の向上と掘り起こしによる創出
- ②観光ニーズの変化に対応した魅力あるまちづくり
- ③誘客の促進とおもてなしの充実

この3つの基本方針に基づき、観光振興の推進分野を6つに分類し、それぞれ実施プロジェクトを実施している。

- ①自然の魅力を活かす
  - ・夏油高原エリア観光推進プロジェクト
  - ・展勝地エリア観光推進プロジェクト
- ②歴史文化を活かす
  - ・民族芸能育成・伝承プロジェクト
  - ・歴史遺産活用推進プロジェクト
- ③特産品の開発と地域ブランドの確立
  - ・特産品推進プロジェクト
- ④新たな観光スタイルの展開
  - ・ニューツーリズム推進プロジェクト
  - ・まち歩き観光プロジェクト
  - ・コンベンション誘致プロジェクト
- ⑤効果的な情報発信と連携
  - ・観光情報発信強化プロジェクト
  - ・広域連携誘客プロジェクト
- ⑥おもてなし文化を活かした受入態勢
  - ・受入態勢強化推進プロジェクト

## 3 結果と考察

このビジョンは、公表時に数値目標を設定している。既に、最終目標値を設定した2020年を経過し

ているので、その目標値と結果を示したのが表1である。

表1 目標値と結果

単位：万人

目標項目	現状値	最終目標値	結果		達成率	
			2019	2020	2019	2020
年	2012	2020	2019	2020	2019	2020
年間観光客数	127	196	180	74	92%	38%
年間宿泊者数	11	22	48	24	218%	109%

表1から、2020年は新型コロナウイルスの流行により、想定外の理由で数値が悪化しているため、前年の2019年の数値で考察する。年間観光客数は180万人であり最終目標値の196万人に16万人少ないが、達成率は92%でありまずまずの成果であるといえよう。年間宿泊数は、48万人であり最終目標値を26万人も上回っており、達成率は218%であり、極めて良い成果を上げていることがわかる。本来の2020年に、新型コロナウイルスの流行がなければ、さらに数値を伸ばしていたと予想される。

#### IV おわりに

本研究は、平成26年3月(2014)に公表された『北上市観光ビジョン(平成26年度～平成32年度)「北東北の魅力ある観光ターミナルを目指して」～久遠の瀬音、鬼棲む誇りのおもてなし～』に着目して、北上市の観光活性化に資する目的で研究をしたものである。観光ビジョンの公表は、本論文の執筆時(2021年)からは約7年前にあたる。その間、北上市はこのビジョンに沿って観光施策を実施してきたと考えられる。個々の施策の成果については、本研究では考察していないが、全体的に北上市の観光の活性化については効果的であったといえる。これは、ビジョンで目標とされた数値目標がほとんど達成されたからである。残念ながら、最終の年には、新型コロナウイルスの流行により、前年と比較して観光客数が急減してしまったが、このような想定外の事件が起こらなければよりよい成果が達成された可能性が高い。

ビジョンの施策を実施する取組みについての個々の成果については、今後検討され、より効果の高い施策、効果の低い施策などが明確になれば、その検討結果をもとに新たな施策を実施することにより、さらなる北上市の観光が活性化する可能性が高い。

最後に、本事業の実施にあたってご協力を頂いた北上市の職員の方々を始め、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

#### 参考文献

- 1 北上市(2014)『北上市観光ビジョン(平成26年度～平成32年度)「北東北の魅力ある観光ターミナルを目指して」～久遠の瀬音、鬼棲む誇りのおもてなし～』。
- 2 北上市統計書(2008～2020)。